



～後期学校評価報告～

日頃より、本校の教育活動に御理解御協力をいただき、誠にありがとうございます。

12月には学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。アンケート結果を分析し、本校職員で来年度の教育活動について話し合いました。

以下に示すアンケート結果、来年度の教育活動について御確認お願いいたします。

学び合い（知） なりたい自分に向かって主体的に学び合い、ともに成長する子

- ・ 学ぶ意味や目的、良さが分かる。
- ・ 学び方が分かる。 ・ どのように考えるのかが分かる。
- ・ 友達と伝え合い、自分の学びを深めることができる。

数字は、「よくできている」「できている」の合計

○授業で学ぶことの意味や目的、学ぶ良さが分かっている。

児童 88%（前期 88%） 保護者 81%（前期 79%） 教職員 91%（前期 95.8%）

今後も、子供たちが学ぶことの価値や意味を分かるように、今の学びが自分の未来の生活、将来の自分の姿につながることを具体的に伝え、子供主体の授業ができるようにします。

○学習のめあてを解決するための調べ方や話し合いの仕方が分かっている。

児童 87%（前期 82%） 保護者 71%（前期 70%） 教職員 100%（前期 92%）

「学習のめあて」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ」の手順で、相生スタンダードに沿った授業をします。

○授業でめあてについて考えるときに、前に学んだこととつなげたり、友達の話聞いて自分の考えとつなげたり、友達の話聞いて自分の考えと比べたり違いや同じところを探したり理由をつけて自分の考えを言ったりしている。

児童 87%（前期 85%） 教職員 79%（前期 64%）

情報収集の仕方や情報の選び方、「関連付け」「比較」「分類」「類推」などの考え方や重要な視点に沿った話し合いの仕方などを身に付けられるように授業を工夫します。

○子供は家庭学習に取り組んでいる。

保護者 81%（前期 82%）

家庭学習の出し方の工夫や学習方法の紹介、担任による価値付けなどの取り組みを継続し、主体的に家庭学習ができるよう、支援していきます。

認め合い（心） 自他のよさを知り、認め合い高め合う子

- ・ 自分のよさを知り、友達のよさが分かる。
- ・ 自分で判断し、よいことを進んで行うことができる。
- ・ よりよい学級・学年・学校にするために働くことができる。

○友達の良いところに気付くことができている。

児童 94%(前期 91%) 保護者 95%(前期 95%) 教職員 100%(前期 95.8%)

様々な場面で、子供たち同士、よさを伝え合う機会を設定した成果が見られ、数値が向上しています。今後も友達のをさを認め合う場を位置づけていきます。

○よいことと悪いことを判断し、行動することができている

児童 85%(前期 82%) 保護者 90%(前期 89%) 教職員 100%(前期 92%)

規範意識を一層高めていくため、「相生 10 か条」を精選し、月のめあてと合わせて意識させ、よいところを称揚しながら繰り返し指導に当たっていきます。

○いつでもだれに対しても挨拶をすることができている。

児童 88%(前期 89%) 保護者 78%(前期 77%) 教職員 83%(前期 83%)

どんな場面でも明るい挨拶が日常化されるのが理想ですが、まずはあいさつをされたら返すことは最低限できるよう、粘り強く声掛け、称揚を継続していきます。

○よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができている。

児童 90%(前期 92%) 保護者 88%(前期 86%) 教職員 96%(前期 92%)

多くの子供たちが係や委員会活動を核に、任された仕事に真面目に取り組んでいます。今年度行った代表委員会をさらに発展させ、子供たちが自治的な活動を展開できるよう環境を整えていきます。

鍛え合い 心身ともに健康で、鍛え合い、あきらめずに挑戦し続ける子

- ・体を動かす楽しさを味わい、主体的に運動する。
- ・基本的な生活習慣を身に付け、安全な生活ができる。

○体を動かすことが楽しく、学校で進んで運動している。

児童 85%(前期 82%) 保護者 82%(前期 83%) 教職員 100%(前期 92%)

2 学期以降は、クラススポーツ、持久走練習、縄跳びタイムなど、多様な運動経験の場を設定し、調整力を育むきっかけ作りを行いました。楽しさを味わい、休み時間にも進んで運動する子が見られます。今後も自分の目標に向かって運動する粘り強さを育てていきます。

○健康に気を付けて生活している。

児童 90%(前期 85%) 保護者 92%(前期 91%) 教職員 96%(前期 96%)

2 学期以降も熱中症対策や感染症対策をして子供たちが元気に過ごせる環境づくりを整えてきました。学級閉鎖もなく、学校行事や様々な活動も順調に開催することができました。毎週のすこやかチェックの項目の中の就寝時刻について課題があるので、各家庭の御協力を得ながら、来年度も健康や成長についての意識を高めていきたいと考えています。

○周りをよく見て安全に生活することができている。

児童 89%(前期 88%) 保護者 93%(前期 91%) 教職員 96%(前期 85%)

今年度は病院にかかるようなけがが前年度より減りました。ただ、廊下歩行や遊具での遊び方に課題が見られる部分があり、小さなけがが見られますので、安全を意識して行動できるよう、繰り返し指導していきます。

キャリア教育 自分の夢や目標をもち、夢や目標の実現に向けて努力することができる。

・温かくかかわる力 ・自分を高める力 ・あきらめずに挑戦する力 ・夢をもちつなげる力

○相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している【温】 児童 91% 保護者 94% 教職員 96%

○自分のよさに気づき、自信をもつことができている【高】 児童 80% 保護者 85% 教職員 96%

○失敗をおそれず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している【挑】 児童 85% 保護者 78% 教職員 96%

○夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる【夢】 児童 89% 保護者 80% 教職員 96%

前期と比べ、全体的に数値が上がりました。今後も、日々の授業や活動で一人一人への価値付けを行っていくことで、子供たちが【高】の力を高めていけるようにしていきます。今年度も地域の方や、CSボランティアさんとの関わりが一層増えました。来年度も身近な大人である皆様と一緒に関わる機会を増やすことで、【夢】の力がより高められるようにしていきます。

自由記述の御意見より一部を紹介します。

○タブレットを毎日持ち帰らず、自分で予定帳を記入してきて明日の支度をし、紙と鉛筆を使って宿題をすることは続けてほしいと思っています。

○低学年の授業でタブレットは必要ないと思います。自分の手で書くことのほうが大切だと思います。

→学習の初期である低学年のうちは、自分の手で書くことが大切です。低学年の段階では、タブレット端末を使ってアンケートに答えたり、写真を撮って提示しながら説明したりとタブレット端末を効果的に使えるよう、各学年で系統立てて指導していきます。

○子供たちに予定帳を書く習慣は必要かもしれないが、保護者に向けて Google のクラスルームを活用して予定帳を送ってほしいです。（複数意見）

→Google のクラスルームは、児童対象のもので、保護者のみの閲覧は遠慮いただいています。保護者の皆さんに周知したい学習予定、持ち物などについて、さくら連絡網を活用して早めにお伝えできるよう心掛けていきます。

○体調不良で学校をお休みした時の授業を体調が良くなってきたときに授業の映像を見ることができたら授業の遅れが減り子供のストレスも減らせるので、タブレットを活用して何とか授業を受けられるようにしてほしい。

→まずはゆっくり休んで体調を整えることが大切ですが、体調がよくなった後、希望があれば授業のリモートを対応いたしますので、担任まで御連絡ください。

○ICT 機器が授業にどのように活用されているか、学習ボランティアさんがどのように関わってくださっているのか、あまり見えてきません。分かると思います。

○何度も見返したり固定で決まっているルールなどの情報には常にアクセスできるようにしておいてくれると助かります。

→保護者の皆様に必要な情報を分かりやすくお届けできるよう、発信の仕方を工夫していきます。CSボランティアの皆様には今年度たくさんの学習や活動に関わっていただいています。来年度は、CS便りの配信以外にも学校便りや学年便り、ブログ等でも活動の様子や子供たちとのやり取りを発信していきたいと思っています。

○自ら運動に取り組むタイプではないのでハロスポなど外で楽しく体を動かす機会を作っていただけのことがあるがたいです。運動会や持久走大会も本人が楽しそうに取り組んでいる様子が見られました。体育系の行事以外にも、文化的な活動の様子も見られるとうれしいです。

→参観会や風の子太陽の子発表会、その他、保護者の皆様に文化的な活動の様子を見ていただく機会を意識してつくっていききたいと思っています。